

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 海田町立海田西小学校

教諭 新宅 隆

- 1 日時 平成30年1月24日(水)
- 2 学年 第4学年1組(男子12名 女子14名 計26名)
- 3 単元名 住みよい町 海田 ～スマイル大作戦～
- 4 単元について

(1) 児童観

本学級の児童の約96%は、「総合的な学習の時間が好き」と、肯定的に捉えている。過去、第3学年の総合的な学習の時間「ふしぎ発見!海田町」の学習で「地域・福祉」をテーマに探究的に地域の様子を調べたり、福祉についての体験活動を行ったりしている。その中で、意欲的に活動に取り組み、計画を立てて情報収集をする力を身に付けてきた。特に、地域がテーマの「西小地いきたんけんたい」では、情報収集した海田町の情報を整理・分析したり、保護者に対して発表する場面を設定したりして主体的に表現することも経験している。

第4学年の1学期には「調べよう・伝えよう海田の自然」で「環境」をテーマとして校区内を流れる瀬野川について探究的に学んだ。児童にとって身近な瀬野川周辺の自然を中心に主体的に学習活動を展開することができた。個々の児童が課題をもち、情報収集に向けて計画を立て、実際に川に足を運び、積極的に生物を探したり、事前に質問内容を考え、河川敷を歩いている人にインタビューをしたりして主体性を発揮している。その後、「瀬野川の自然マップ」や「瀬野川自然新聞」などに進んでまとめたり、第3学年児童に研究成果を発表したりするなどして、様々な角度で学んだことを表現することができた。

児童の意識調査では、「総合的な学習の時間での体験活動が好きである」の問いに、約96%の児童が肯定的回答を行った。また、「自分で課題を立てて情報を集め、整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます」では、約82%の児童が肯定的回答を行った。このことから、課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現に至る探究的な学習の流れについては、ある程度経験ができていると言える一方、「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫している」の項目に肯定的に回答した児童は約52%で最も低い。学校生活の中でも、友達や教師に自分の思いを伝えることが苦手な児童や、相手の思いを考えて行動することが難しい児童がいることも事実である。このことから、相手意識を明確にして集団思考をさせる場面では、分かりやすく伝えるような発表の工夫ができるように支援することが必要である。

(2) 単元観

本単元「住みよい町 海田～スマイル大作戦～」では、「つながり」をテーマに、校区内にある介護老人保健施設「さくら」との交流を行う。見学でそこに通われている高齢者の方との関わりを通して、相手の立場に立って高齢者の方に楽しんでもらえる活動を自分たちが企画し、交流会を開く。リハビリ滞在型の施設で身体の機能回復や認知症治療の最前線である施設での活動は、生易しいものではないことは理解しているが、児童らがお年寄りと手を取り合い、共に活動を行うことは、お年寄りにとって機能回復以上の効果があると聞く。中には同じ校区内に住み、施設に通っているお年寄りの方もおられる。また、家族がそこで働いている児童もいる。身近な人々が施設に関わっているという現実を知ることによって、児童にとっての本単元「住み

よい町」＝「海田」への結びと発展していくことであろう。

この学習を通して、高齢者の方のために何ができるか自ら課題を見付け、主体的に課題解決しようとする力や、他者と関わる喜びや温かさを感じ、自らの生活を見直す力を育てることをねらいとしている。また、国語科の「メモの取り方をくふうして聞こう」の学習と関わらせて、必要な情報を聞き落とさないようにインタビュー活動をすることで、積極的に情報を収集する力も身に付くと考えられる。

(3) 指導観

児童が介護老人保健施設「さくら」の存在を知り、訪れ、そこに通われている高齢者の方々と触れ合う中で優しさや温かさなどに触れ、「もっと関わりたい」「一緒に楽しい活動をしたい」という意欲を喚起できるようにしたい。導入場面では、第3学年での「地いきたんけん」の活動を思い出し、バリアフリーや体の不自由な人のための町の中にある様々な工夫を想起する。介護施設の地図や写真を見ながら、海田西小学校の校区内に2か所のデイケア施設と介護老人保健施設「さくら」という施設があることに気付かせることで興味付けをする。次に「さくら」を訪問し、施設の中を見て回りながら説明を受けたり、通われている方と一緒に活動をしたりすることで、身近にあるこの施設に関心をもつ。施設や働く人の様子、施設を利用している方について、分かったことやもっと知りたいことを話し合うことで、『さくら』の方たちともっと関わりたい」「自分たちが企画した活動で、楽しく交流したい」という願いを児童から引き出すようにしたい。そして、「さくら」の訪問で分かったことや感じたこと、取材活動で集めた情報を関わらせながら自分たちで活動を企画し、「さくら」の方たちが楽しめる交流会を開くという単元の折り返し地点を設定する。

「さくら」の方たちとの活動を考えていく中では、実際に「さくら」の方たちとの触れ合いで得た実感を持った経験と取材活動で集めた知識とを関連付けながら、次の交流会にふさわしい活動を導き出す力が必要となる。本単元で育成したい思考の力は、経験と知識を関連付ける力や、交流会にふさわしい活動を高齢者の立場等から多面的に考える力である。

課題設定の場面では、4つの視点を基に表を活用して多面的に考えさせる。「施設について」、「働く人のようす」、「お年寄りの方のようす」、「その他」について、もっと知りたいことを中心に挙げることで、個々がこれからの学習における自分の課題を、どのように設定していけば良いのか、見通しをもたせたい。

「さくら」への訪問での経験と知識とを関連付けて思考する場面では、「座標軸」を用いる。その際、『さくら』の方たちと一緒にできるか』『さくら』の方たちが楽しめるか」の視点で、経験と知識を関連付けながら座標軸で整理し、交流会にふさわしい活動を考えていく。常に『さくら』の方たちにとって」という相手意識をもたせながら思考させていく。グループで協働的に話し合うことで、友達同士の意見を認め合いながら活動を進めさせたい。話し合い活動をより深め、主体的に活躍できる場を意図的に設けることで、何かにチャレンジしていこうとする精神を養い、自らへの自信とつながるものと考えている。

「さくら」の方たちとの活動を考えていく中では、話合いの集団の中で異なる意見が出ることも予想されるが、その意見を肯定的に捉え、受け入れる力を身に付けさせたい。自分の意見も相手の意見も視点が明確であれば公平に扱い考える場をもたせることが必要である。そのため、交流会での活動について話し合う場面では、活動についての話合いに至るまでに得た個々の経験や知識を引き出し関連付けながら互いの意見の良い点、問題点の両面を考えることで、

自分の意見も相手の意見も偏りなく分析し、公平に判断していくことの良さを実感させたい。

また、交流会本番では「さくら」の方たちの様子に気を配り、児童から声をかけることが必要になる。その力を付けるために、児童には施設への見学の際に職員の方たちがお年寄りとどのように関わっているかを確認したり、お年寄りが普段どんな様子で過ごしているかを把握することを意識させたりして、目的を明確にして施設への訪問を行わせる。

交流会を経て児童は、「これからも、お年寄りが安心して暮らせる海田町であってほしい。」と願うだろう。単元のゴールは、交流によって芽生えた思い「人生の先輩達の今後」であり、「将来の自分や家族の姿」を投影しながら、お年寄りに優しい町づくりに向けての提言を行うことである。

海田町では、年に1回子ども議会を招集し、本会議しながら町の行政に向けて提言する機会がある。児童が第6学年になったとき、そのような機会を利用して「お年寄りに優しい町、海田町」「お年寄りや子どもたちが安心して暮らせる町、海田町」をアピールしていく土台となればと考えている。

5 単元の目標

- 介護老人保健施設「さくら」での体験や、「さくら」の方たちとの交流会を計画することを通して、自ら課題を見付け、主体的に課題解決しようとする態度を育て、収集した情報を整理・分析したり、多面的に考えたりすることができる。
- 「さくら」に通われている方たちとの交流を通して、人と関わることの喜びや温かさを感じさせ、相手の立場に立ち思いやる心で他者と接することができる。

6 単元の評価規準

学習方法		自分自身		他者や社会とのか かわり
課題発見力	課題解決力	主体性 チャレンジ精神	自らへの自信	コミュニケーション能 力・自己表現力
ア 「さくら」での体験から活動目標を決め、目標達成に向けて『さくら』の方たちが楽しめる交流会を開く」という課題を見付けている。	ウ 「さくら」の方たちが楽しめる交流会を開くために、必要な情報を収集している。 エ 提案した活動を「さくら」での体験や取材活動で得た知識を基に多面的に考察し、交流会にふさわしい活動を考えている。	カ「さくら」の方たちのことを考え、主体的に取り組んでいる。	キ 人と関わることで得られる喜びを感じ、自分の良さや可能性に気付いている。 ク「さくら」の方たちとの交流を通して自分には何かを考え、積極的に日々の生活に生かそうとしている。	ケ グループの友達と意見交換しながら、異なる意見や考えを受け入れ、協働して課題を解決しようとしている。 コ「さくら」の方たちに楽しんでもらえるよう、活動内容や声かけを工夫している。
イ 課題解決に向けた活動計画を立てている。	オ 新聞記事を基に活動を振り返り、次の活動を見通して考えている。			

7 本単元において育成したい資質・能力

【学習方法に関すること】

- ア 介護老人保健施設「さくら」の見学から、交流会に向けての課題を見付けている。
- イ 課題解決に向けた活動計画を立てている。
- ウ 交流会を開くために必要な情報を収集している。
- エ 交流会にふさわしい活動を考えている。
- オ N I Eを活用した学習を効果的に取り入れ、解決に向けて見通しをもっている。

【自分自身に関すること】

- カ 相手のことを考え、主体的に取り組んでいる。
- キ 人と関わることで得られる喜びを感じ、自分のよさや可能性に気付いている。
- ク 交流会で得た自信を、日々の生活に積極的に生かそうとしている。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- ケ 友達との意見交換を通して、協働して課題を解決しようとしている。
- コ お年寄りが楽しめるよう、活動内容や声かけを工夫して交流している。

8 単元の学習指導計画（全24時間）

時	学習内容	評価					評価規準 (評価方法)
		課題発見力	課題解決力	主体性・チャレンジ精神	自らへの自信	コミュニケーション能力・自己表現力	
1	課題の設定 ○3年までの学習を振り返り、「住みよい町」について考える。 ・海田町内の地図や施設の写真を見て、介護施設の存在を知る。 海田西小学校の近くに介護老人保健施設「さくら」があることに気付く。	○					・3年までの学習を振り返り、介護老人保健施設「さくら」(以下「さくら」)に関心をもっている。 【学ーア】 (発言・行動観察)
2 3	○介護老人保健施設「さくら」へ訪問し、施設や人々の様子を知る。 ・「さくら」へ訪問し、施設の説明を受けたり通われている方との交流を行ったりして施設内の様子を知る。		○				・「さくら」へ訪問し、施設や人々の様子を見学することで課題解決へのきっかけを見付けている。 【学ーウ】 (発言・ワークシート・行動観察)

4 5	<ul style="list-style-type: none"> ○「さくら」への訪問で分かったことや感じたことをまとめ、課題を設定し学習計画を立てる。 ・分かったことや感じたことをまとめ、「さくら」の方たちと交流するという課題を設定する。 ・「さくら」の方たちに楽しんでもらう交流会を開くというゴールの見通しをもち、学習計画を立てる。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・「さくら」への訪問についてまとめ、課題やゴールの見通しを考えている。 【学ーイ】(発言・行動観察)
6 7	<p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流会での活動の計画を立てるために、「さくら」を再度訪問するという計画を立てる。 ・「さくら」への訪問のまとめを振り返る中で、今ある情報だけでは交流会での活動を決定するのは難しいことに気付く。 ・交流会の活動を考えるために、「さくら」を再度訪問する計画を立てる。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・情報の不十分さに気付き、2回目の「さくら」への訪問の必要性に気付き、計画を立てている。 【学ーウ】 (発言・聞き取りメモ・行動観察)
8	<ul style="list-style-type: none"> ○「さくら」で取材したい内容を考える。 ・「さくら」の方たちが楽しめる活動にするために自分たちが知っておきたいことを付箋に書き出し整理しながら、取材の計画を立てる。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・「さくら」の方たちが楽しめる交流会を開くために必要な情報は何か考え、書き出している。 【学ーウ】 (発言・ワークシート・行動観察)
9 10	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な情報を得るために、2回目の「さくら」への訪問を行う。 ・「さくら」に通われている方の様子を見たり職員の方にインタビューしたりする中で、必要な情報を収集する。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・「さくら」の方たちが楽しめる交流会を開くために、必要な情報を収集している。 【学ーウ】 (発言・聞き取りメモ・行動観察)
11	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症についての情報収集と理解を深めるために、認知症サポート研修を学級で受講する。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・「さくら」の方たちが楽しめる交流会を開くために、認知症について必要な情報を収集している。 【学ーエ】(発言・行動観察)

12	整理・分析 ○交流会にふさわしい活動を整理して考える。 ・「さくら」の方たちと楽しめそうな活動を考え、付箋に書き出す。				○	・グループで意見交換しながら、協働して課題を解決しようとしている。 【他ーケ】 (発言・ワークシート・行動観察)
13	○「さくら」への2度の訪問で分かったことと家庭や書籍などの取材活動で得た情報を関連付けながら、設定した視点に沿って活動を座標軸上に整理する。		○			・交流会でできそうな活動を考え、経験と知識を関係付けながら座標軸で整理している。 【学ーエ】 (発言・ワークシート・行動観察)
14	○考えた複数の活動について多面的な視点から分析する。 ・考えた活動について、グループごとに活動の良い点、問題点等を考える。 ・分析したシートを学級内で読み合い、交流会にふさわしい活動を考える。		○			・複数の活動を多面的な視点から分析している。 【学ーエ】 (発言・行動観察)
15	○分析結果を基に交流会で行う活動を決定する。 ・分析した結果を基に、もう一度視点に沿って座標軸に整理し、意見交換をしながら交流会で行う活動を決定する。				○	・互いの意見を受け入れながら話し合っている。 【他ーケ】 (発言・行動観察)
16	まとめ・創造・表現 ○交流会に向けての準備を行う。 ・活動に必要な物や分担を考え、意見を出し合いながら準備の計画を立てる。 ・友達と意見交換をしながら活動内容を精選する。			○		・交流会に必要なものを主体的に考えたり、分担や活動場所をお互いの意見を大切にしながら決めたりしている。 【自ーカ】 (発言・行動観察)
17	○交流会に向けての準備を行う。 ・分担や準備の計画を基に、活動に必要な物の準備をする。 ・「さくら」の方たちに楽しんでもらえるよう、ルールを設定する。				○	・「さくら」の方たちに楽しんでもらえる活動になるように内容を工夫しながら準備をしている。 【他ーコ】 (発言・行動観察)

18・ 19	○「さくら」の方たちとの交流会を実施する。 ・グループごとに、自分たちが考えた工夫を取り入れた活動を行う。 ・ルールや声かけに気を配りながら、「さくら」の方たちと交流する。				○	・「さくら」の方たちに、楽しんでもらえるような心配りをしながら活動を行っている。 【他ーコ】(発言・行動観察)
20	振り返り ○ビデオや写真などを見て交流の様子を思い出しながら、活動を振り返る。 ・当日の様子を記録したビデオを見返し、お互いの表情や動きなどから、「さくら」の方たちの気持ちを確認する。その中で、交流会に参加された方の感想を収めたビデオレターも視聴する。				○	・ビデオや写真、ビデオレターを視聴し、人と関わることで得られる喜びや自己有用感を感じ、自分の良さや可能性に気付くことができる。 【自ーキ】(発言・行動観察)
21 本 時	○新聞記事から今回の活動「住みよい町 海田～スマイル大作戦～」について振り返り、これからの活動について話し合う。				○	・「さくら」のお年寄りの方たちとの交流会を通して、自分たちができたことやこれからできることについて新聞記事を基に話し合い、日々の生活に生かそうと積極的に考えようとしている。 【自ーク】 (発言・ワークシート・行動観察)
22 ・ 23	○今回の学習で学んだことを「スマイル大作戦新聞」にまとめ、発表する。				○	・グループの友達と意見交換しながら、異なる意見や考えを受け入れ、協働して課題を解決しようとしている。 【他ーケ】(発言・行動観察)
24	○自らの学びや学び方を振り返り、新たな課題を見付ける。 ・発表やワークシートを基に自らの学びを振り返る。				○	・「さくら」の方たちとの交流を通して、自分ができるとは何かを考え、日々の生活に生かそうとすることができる。 【自ーク】(発言・行動観察) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">★深い学びを実現した児童の具体 お年寄りとの交流を通して自分の新たな一面に気付いたり、自己の生き方を振り返ったりして、人々の温かい思いを実感し、自信をもってこれからの生き方を考えることができる。</div>

9 本時の学習

(1) 本時の目標

新聞記事から自分たちの取組について振り返り、これからの活動について話し合う。

(2) 本時の評価規準

◎ 自らへの自信

「さくら」のお年寄りの方との交流会を通して学んだことについて新聞記事を基に話し合い、自分たちができたことやこれからできることを日々の生活に生かそうと積極的に考えている。

(3) 準備物

新聞記事（ワークシート）、掲示用新聞記事、交流会の写真等

(4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点◇ (◆「努力を要する状況」と判断した 児童への指導の手立て)	評価規準 (★) 資質・能力 (評価方法)
導 入	<p>1 交流会で撮った二枚の写真から交流会当日の様子を想起する。</p> <p>○写真のお年寄りを見てどう思いますか。</p> <p>・笑顔って素敵だな。もっと笑顔にしてあげたいな。</p> <p>・幸せな気分になると、もっと笑顔も増えると思う。</p> <p>・私たちと交流会でゲームをしたり歌ったりすると気持ちが晴れて楽しくなると思うな。</p> <p>○この笑顔のために何かできることはないかな。</p>	<p>◇交流会当日のお年寄りの写真を提示し、交流会がお年寄りの方に与えた影響について、興味をもって振り返ることができるようにする。</p>	
<p>今までの活動を振り返り、これから自分たちにできることを決めよう。</p>			
展 開	<p>2 新聞記事「お年寄り笑顔にしたよ」を読んで、12月に実施した交流会を振り返る。</p> <p>○自分達の活動が新聞記事になった感想を教えてください。</p> <p>・交流会をやってよかった。活動を認められた感じがした。</p> <p>・いろいろとお年寄りのことを考えてゲームを工夫してよかった。</p> <p>・自分たちで会を計画し、お年寄りが笑顔になってくれてよかった。</p> <p>・自分たちの自信になったので、やって良かった。</p> <p>・最初は緊張して笑顔もなかったけれど、最後にはみんな笑顔になってくれた。歌の時、泣いている人もいた。それを見て感動した。</p>	<p>◇記事は教師が読み、大切などころには線を引かせるようにする。</p> <p>◆ワークシートや新聞記事の中の漢字に読みがなをつけ文章を読みやすくする。</p>	

	<p>3 資料の新聞記事から、交流会の次に自分たちができることを話し合う。</p> <p>○自分たちが次にできそうなことについて話し合おう。</p>	<p>◇「さくら」との交流会の経験をどのように伝え、生かしていくのかを考えさせる。</p>	<p>○「さくら」のお年寄りの方たちとの交流会を通して、自分たちができたことやこれからできることについて新聞記事を基に話し合い、日々の生活に生かそうと積極的に考えている。</p> <p>(観察・発表・ワークシート)</p>
	<p>・町を歩くお年寄りの方に笑顔であいさつをする。笑顔で話しかけることがお年寄りにとってうれしいことだと分かった。</p> <p>・また、機会があったら「さくら」に行きたい。音楽のプレゼントを喜んでくれたから。</p> <p>・折り紙やメッセージカードを書いて送るといいと思う。</p> <p>・今回の「スマイル大作戦」で学習したことを次の学年に伝えて、来年の活動に生かしてもらいたい。</p>		
<p>まとめ</p>	<p>4 話し合ったことをまとめる。</p> <p>○話し合いで出てきた意見をまとめましょう。</p>	<p>・グループで話し合ったことを出し合うようにする。</p> <p>・これから自分たちができそうなことを板書にまとめるようにする。</p>	<p>★介護老人保健施設「さくら」に通われている方たちとの交流を通して、積極的に人と関わる喜びや温かさを感じ、自分の良さや可能性に気付いている。</p> <p>(観察・発表・ワークシート)</p>
	<p>めざす児童像</p> <p>・「さくら」との交流会を通して、海田町のお年寄りの方を笑顔にする方法がわかったよ。あいさつすること、相手を理解して交流することが大切なんだね。</p> <p>・自分たちが体験したことを次の学年に伝えて、来年も笑顔いっぱいの海田町にしてほしいな。</p>		
	<p>5 次時の予告をする。</p>		

(5) 板書計画

住みよい町 海田 ～スマイル大作戦～

めあて 今までの活動をふりかえり、これから自分たちにできることを決めよう。

お年寄り
写真

- ・笑顔って素敵だな。
- ・もっと笑顔にしてあげたいな。

新聞記事

交流会
写真

交流会
写真

○ 交流会をふり返って

- ・楽しい会ができて良かった。またやりたい。
- ・交流会でゲームをしていて、お年寄りが笑顔になった。
- ・自分たちで会を計画し、工夫することができて良かった。
- ・自分たちの自信になったので、やって良かった。

○ 話し合ったこと

- ・お年寄りが元気になれる町にしたい。
- ・笑顔であいさつをする。
- ・これからも交流を続けたい。
- ・メッセージカードを送りたい。
- ・このことを次の学年に伝えたい。

(ふりかえり)

- ・海田町のお年寄りを笑顔にする活動をこれからも続けていきたい。

交流会の様子



授業の様子

